

1	議席番号 1 2 番	藤田 和寿 議員	開始予定時刻 3 月 12 日 午前 9 時
<p>【町が目指す教育について】</p> <p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、4月1日から施行されることに伴い、地方教育行政において様々な制度が変わります。現状の課題と町長が目指す教育の方向について、以下具体的にお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 まちの教育行政で、これまで課題と認識されてきたことはあるのか。 2 教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」が設置される、改善される点は。 3 教育委員会の機能と役割は、どのように変わるのか。 4 町長と教育委員会による「総合教育会議」が設置されることによる効果は。 5 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の「教育に関する大綱」は、地域の実情に応じて策定されるが、地域の実情をどのように分析されているか。 6 教育の政治的中立性、継続性・安定性をどのように確保するのか。 7 今後、町長の考える教育政策の方向性は。 			

2	議席番号 3 番	山内 均 議員	開始予定時刻 3 月 12 日 午前 10 時
<p>【吉田町公共下水道事業計画について】</p> <p>町は、昭和62年に準備を始め、平成2年から管渠工事に着手し現在に至っています。</p> <p>第4次吉田町総合計画、後期基本計画では、公共用水域の保全に寄与する下水道などの基盤が整備された町を目指すとされています。</p> <p>また、概要には、浄化槽の整備の中で、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進しています。</p> <p>公共下水道事業では事業認可区域が指定されていますが、吉田町全区域をカバーするものではありません。事業認可区域外は国から補助を受けて合併処理浄化槽で水洗化をすることになっています。</p> <p>公共下水道事業では膨大な建設費および維持管理費がかかります。</p> <p>現在までに費やした費用は、町の試算で約404億円かかっています。</p> <p>新たに浄化センターを新設すれば約120億3千万円かかるということです。また、現況でも毎年の維持管理・運営には1億2千万円ほどかかっています。これらは税金で賄うこととなります。</p> <p>これに対して、合併処理浄化槽では、現状でも維持管理、保守点検や電気、水道などの費用は個人が負担しており、財政への負担は限られます。</p>			

戸建住宅での設置費用は本体および工事費を含めても、1軒あたり平均で80万円から100万円で済みます。

当然住宅以外もありますので考慮するところではありますが、その差は歴然です。人口の少子化も影響をします。

特に町の中央を流れる湯日川の存在は公共下水道事業に大きな影響をもたらします。

その中でも、最も大きな懸念は、巨大地震など未知の大災害の発生です。

東日本大震災で見られた、液状化や地盤沈下は破壊的な結果をもたらしました。国も方向転換を図っているようです。

そこで質問します。

- 1 現在の計画では、町全体の完成時期はいつ頃と計算していますか。
- 2 現在の認可区域において完成後の費用はどのくらいと試算していますか。維持管理費とともにお聞きします。
- 3 全体計画の見直しは、27年度、28年度と聞きました、何を見直そうとしているのですか。
- 4 湯日川を挟んだ地域での下水処理はどのように考えていますか。
- 5 巨大地震など大災害が発生した場合のシミュレーションはしていますか。

3	議席番号 9 番	大塚 邦子 議員	開始予定時刻 3月12日 午前11時
<p>【浜田土地区画整理事業と周辺整備について】</p> <p>川尻浜田地区は、平成12年度から浜田土地区画整理組合による区画整理事業が実施されており、平成26年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約65%である。</p> <p>平成26年3月28日には榛南幹線が供用開始され、今後は37.1haにおよぶ当該区画整理の早期完成と保留地処分等を実施することが、定住人口の増加、また大規模商業施設の誘致へつながり、町長の構想である『豊かで勢いのある町づくり』に大きく寄与するのではないかと、</p> <p>そこで以下のことについて町長の考えを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 浜田土地区画整理事業の進捗を拒む課題と町の対応策は。2 津波防災まちづくりにおける浜田区画整理の位置付けは。3 防潮堤の整備について4 浜田地区の賑わい創出とシーガーデンシティ構想について			